

とちぎ発

# 元気農業

ふるさととちぎ21活性化塾だより



平成24年

53号



とちぎ夢大地応援団カレッジ活動



芋ぐし作り

今年度から「とちぎ夢大地応援団カレッジ活動」が始まり、真岡北陵高等学校生延べ68名が那須烏山市大木須地区で、7月、10月、11月の3回、体験活動を行いました。地元の人たちの指導を受けながら、1回目はオオムラサキ公園内の草刈りや里芋畑の管理、ホタルカゴづくりなどを行い、2回目は遊休農地の草刈りとそばの収穫、3回目は雨天の中、里芋の掘り取りと「芋ぐし」作りを行いました。

活動に参加した学生たちは「家庭・学校では経験できない貴重な体験をさせて頂きました。機会があったら、ぜひまた参加したい」と感想を述べており、学生らの意気込みにより地域の人たちも心強さを感じていました。

## 目次

- 1 安らぎと地域農業のよりどころ『道の駅きつれがわ』
- 2 6次産業化の取組を支援しています
- 3 元気ハツラツ農産物直売所調査結果
- 4 平成23年度美しいとちぎのむら写真コンテスト優秀作品
- 6 平成23年度（第20回）ふるさととちぎ  
農業・農村児童画コンクール優秀作品
- 8 つなごう！食と農実践講座





## 安らぎと地域農業のよりどころ『道の駅きつれがわ』

「道の駅きつれがわ」は、旧喜連川町（現さくら市）の国道293号沿いにあり、平成13年に地域農業の拠点施設としてオープンしました。

3 haの敷地内には、「日本三大美肌の湯」の一つとされる温泉施設があるほか、「農産物直売所」や「地域食材レストラン」、「アイスクリーム製造室・販売コーナー」があります。温泉施設の一部を除いた各施設は、いずれも「農業構造改善事業」を活用しています。

オープン以来、関係者のたゆまぬ努力により、施設の知名度がアップし、四季を通じて安全・安心な農産物が出荷され、さらに地元の食材を使ったレストランが人気を呼び、入場者はレジの通過者だけでも毎年約70万人を超えています。



道の駅本館のシンボルタワー



道の駅きつれがわ直売所

施設の中核を成す直売所については、50名の専業農家が生産出荷組合を立ち上げスタートしました。当初は農産物の確保が容易ではなく苦勞しましたが、今では会員も120名に増え、品揃えが豊富になり、年間の販売額も2億円を上回ってきました。また、商品管理や品切れ商品を防ぐため、POSシステムをオープン以来導入しており、1日2回、生産者等の携帯電話に配信し、常に品質のよい農産物が提供できるよう、システム化しています。さらに、5年前からは店内に生産者の顔写真を掲示し、生産者と消費者の信頼関係の構築に努めています。

次に、レストランでは2店舗が営業し、地産地消にこだわったメニューを顧客に提供しています。一例を紹介すると、そば店では地粉を毎日その日の分だけ製麺し、中華をメインとしたレストランでは、地元農家と契約したコンヒカリのみを使用しています。

また、アイスクリームの製造・販売は、地元の農業後継者が土地利用型農業を営む一方で、地域の農業者仲間と地元農産物使って「アイス工房きつれがわ」を運営しており、女性と若者に魅力ある、おしゃれな店作りに取り組んでいます。

今後とも当道の駅では、農村を元気にする拠点施設として施設の充実強化に努めるとともに、訪れた人々に安らぎとおいしさ、感動を提供できるよう、日々改善に努めています。



アイスクリーム販売コーナー



## 6次産業化の取組を支援しています

栃木県農業振興公社では、本年度から農林水産省の委託を受け、6次産業の推進母体「栃木6次産業化サポートセンター」となり、新たな農業ビジネスを目指す意欲ある農業者や農商工連携に取り組む事業者等を、積極的に支援しています。

現在、サポートセンター内に6名のプランナー（農業指導、商品開発、流通等の専門家）を設置し、これらのプランナーが、6次産業化に関する相談や事業計画策定の指導、新商品開発の助言を行っています。

また、フードバレーとちぎ農商工ファンド活用助成事業に取り組み、当該事業を活用して「新農業ビジネス若手起業家研修会」や「いちご需要拡大プロジェクト研究会」、「米粉de元気プロジェクト講演会」などを開催し、有益な情報の提供やネットワークづくりを支援しています。

公社では6次産業化の取組を通じて、本県の農業がますます元気になるよう、今後とも、積極的に業務を推進して参ります。なお、本年度の6次産業総合化事業計画の認定状況（申請を含む）は、下表のとおりです。



6次産業化プランナー交付式・セミナー  
(平成23年7月、アグリプラザ)



米粉de元気プロジェクト講演会  
(平成23年7月、総文センター)



新農業ビジネス若手起業家研修会  
(平成23年10月、埼玉種畜牧場)

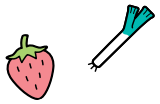


いちご需要拡大プロジェクト研究会  
(平成23年10月、県総文センター)

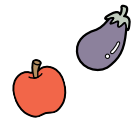
### 6次産業総合化事業計画認定一覧

NO	事業者	事業内容	認定年月日
1	那須町・(有) 那須高原今牧場	自家産牛乳を活用したチーズの生産、販売	H23. 5. 31
2	宇都宮市・(生法) 兼愛農場	米粉パン、米粉ラスクの生産販売	H23. 10. 31
3	宇都宮市・(株) 遊食ファーム	農産物の生産と直売、食材の加工	申請中
4	小山市・(有) いちごの里	いちごシロップ、いちご飲料の開発生産	申請中
5	栃木市・(企) 麦笛のみち	地域の伝統料理の生産販売	申請中
6	鹿沼市・(有) 花農場あわの	ブルーベリータルト、ジャム等の加工	申請中
7	那珂川町(有) 星種豚場	自家産豚肉ハム、ソーセージの生産	申請中
8	矢板市・加藤農園	自家産りんごジュース、コンポートの生産	申請中
9	宇都宮市・(生法) 育くんファーム	露地野菜を使った真空調理惣菜の加工等	申請中





# 元気ハツラツ農産物直売所調査結果



県内の直売所も生産者の高齢化や競争の激化等様々な課題を抱えておりますが、その中でもいろいろなアイデアや工夫で売り上げを伸ばしている直売所が沢山あります。

そこで、県内の23直売所に対して、当会社の都市農村交流施設活性化推進員と、栃木県交流サポーター連絡会員5名で直接訪問して各種アイデアや工夫事例を伺って来ましたので、その一端をお知らせします。

## 1 運営形態

道の駅タイプ 14カ所 農家グループ 9カ所

## 2 販売額別

売り上げ額	カ所数
10,000千円～50,000千円	3
60,000千円～100,000千円	1
110,000千円～200,000千円	6
210,000千円～300,000千円	9
310,000千円～400,000千円	2
410,000千円以上	2

## 3 生産者数

生産者数（組員）	カ所数
50名以下	3
51名～100名	1
101名～150名	9
151名～200名	6
201名～250名	3
300名以上	1



LEDの照明

東北を  
忘れない!!



## 4 品揃えの確保対策は？

年間生産計画の策定	有り 7	無し 16
市場仕入れの有無	有り 10	無し 13
Pos連動メール配信サービス	有り 11	無し 12

## 5 品質管理や陳列法は？

生産履歴（農薬使用含む）提出	有り 23	無し 0
入荷時のチェック者は？	生産者G 7	店長等16
並べ方は？	同一品別20	個人箱 3

## 6 POPやレシピは

POP	非常に豊富15	少ない 6	ほとんど無2
レシピ	非常に多い4	比較的多い10	少ない 9



見て楽しい  
POP

お米のPOP  
はアイディア一杯



直売所を地域情報  
発信の場に活用

渋柿の表示は  
大事です!!



## 7 その他参考事例

- ・台計りの設置・友の会制度・お客様ノート・生産者用泥落とし（エアブラン）設置
- ・出荷月日表示・高齢者向けに棚を下げた・直売所を地域の癒しの場・朝礼の徹底
- ・楽しいPOPや看板で元気を発信しています



# 平成23年度美しいとちぎのむら写真コンテスト優秀作品



栃木県、栃木県土地改良事業団体連合会及びふるさととちぎ21活性化塾の共催により、第18回美しいとちぎのむら写真コンテストを開催したところ、県内の中学生・高校生から118点の応募がありました。昨年12月に審査を行い、次の作品が最優秀賞・優秀賞に選ばれました。

## 農業に生き生きと携わる人々の部門

### 最優秀賞



鹿沼市立  
栗野中学校1年  
五味田 朱音さん  
「麻のなか」

### 優秀賞

真岡市立  
長沼中学校2年  
大足 雅さん  
「未来へ続く一本道」



那須塩原市立高林中学校3年 新井 美麗さん  
「苗植え」

## 農地、水、農村環境を守る活動部門

### 最優秀賞



矢板高1年 酒主 拓哉さん  
「夕暮れ時の水田」

### 優秀賞



那須塩原市立高林中学校3年 月井 瑞穂さん  
「働く地域の人々」



宇都宮白楊高3年 小林 竜翔さん  
「バスを待つふとした瞬間」





# 平成23年度（第20回）ふるさととちぎ 農業・農村児童画コンクール優秀作品

栃木県とふるさととちぎ21活性化塾（事務局：財栃木県農業振興公社）の主催による児童画コンクールに県内の小学生から1,328点（166校）の応募があり、審査の結果、入賞作品39点が選ばれました。昨年の10月30日とちぎアグリプラザ（宇都宮市一の沢）で開催した「アグリプラザまつり会場」で表彰式を行いました。また同会場と10月15・16日に栃木県庁で開かれた「とちぎ食と農ふれあいフェア2011会場」で優秀作品を展示しました。

## 低学年（1・2年生）の部

最優秀賞（栃木県知事賞）



下野市立薬師寺小2年 嶋田 和也さん  
「栃木の特産物 かんびょう」

優秀賞（栃木県教育長賞）



さくら市立氏家小2年 中澤 恵人さん  
「とうもろこし とったどー！」

優秀賞  
（栃木県農政部長賞）

真岡市立  
大内中央小2年  
大塚 結衣さん  
「おじいちゃんと  
じゃがいもほり」



低学年受賞者



中学年受賞者



## 中学年 (3・4年生) の部

最優秀賞 (栃木県知事賞)

優秀賞 (栃木県教育長賞)

優秀賞 (栃木県農政部長賞)



野木町立南赤塚小3年 平野 恵里香さん  
「なす畑でびっくり！」



大田原市立黒羽小3年 小室 光さん  
「薬まき」



鹿沼市立みどりが丘小4年 渡辺 将生さん  
「稲かり」



## 高学年 (4・5年生) の部

最優秀賞 (栃木県知事賞)

優秀賞 (栃木県教育長賞)



真岡市立大内西小  
6年 田中 美有さん  
「かんぴょう大収穫」



鹿沼市立  
みどりが丘小  
6年 佐藤 果奈さん  
「花農家のお仕事」

優秀賞 (栃木県農政部長賞)



真岡市立真岡小5年 田尻 未来さん  
「田植え」



高学年受賞者





# つなごう! 食と農実践講座

■当会社では、多くの県民の皆様に食の大切さや食を支える農の役割を「食と農の伝道者」※として地域との交流を通じて伝えていただくことを目的とした「つなごう! 食と農実践講座」を開催しています。

■今年度の講座は、とちぎアグリプラザを主会場に、栃木県なかがわ水遊園・とちぎ花センターとのパートナーシップにより、「食」「農」「地域」「環境」そして、“伝える”をテーマとした計9回の講座を開催しました。

■生産者・消費者、更には企業の社外研修としての受講など、約70名の熱心な受講者は、知って・見て・体験して、そして楽しく食べて、とちぎの食と農の理解を深めました。

※「食と農の伝道者」とは、「つなごう! 食と農実践講座」において所定の課程を修了した受講者の総称です。

とちぎの食と農を 知って!



そして楽しく 食べて!



地域との交流の中で 伝える!!



見て!



食べて!



体験して!



食べて!



## つなごう! 食と農実践講座

美土里館 (茂木町)



栃木県なかがわ水遊園



とちぎ花センター



※「つなごう! 食と農実践講座」の詳細については、とちぎアグリプラザのHPを御覧願います。 <http://www.agriplaza.jp/>

**とちぎ発 元気農業** ふるさととちぎ21活性化塾だより53号

発行日 平成24年2月14日  
編集・発行 ふるさととちぎ21活性化塾  
所在地 〒320-0047 宇都宮市一の沢2-2-13  
(財)栃木県農業振興公社内

TEL 028(648)9511(代) FAX 028(648)9517  
URL : <http://www.tochigi-agri.or.jp>  
Eメール : [info@tochigi-agri.or.jp](mailto:info@tochigi-agri.or.jp)

